

ハヤブサ

ニュース

No.47



絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

京丹後から米軍基地を 追い出すために!

永井友昭さんを京丹後市議会へ!

2/9「京都連絡会」は、「総会」で永井さんの京丹後市議会への立候補を全会一致で支援することを決め、「永井友昭さんを応援する会」を結成し、その後、連日活動を展開しています。

すでに3/10 峰山町、3/24 久美浜町、そして今回、大宮町に永井さんの人柄と「米軍再編交付金なしでも住み続けられる京丹後市を作ろう!」という呼びかけ趣旨のビラを全戸配布してきました。

事務局からカンパ要請、電話及びはがき作戦のお願いがメールで届いていると思います。短期決戦です。コロナ禍の中、自己と家族・友人・地域社会を守りながらご協力をお願いします。事務局



4/9、大宮町へのビラ配布。

京丹後てんきてんき」で食事。持ち寄った食事を分け合って食べる至福の時空。



最初に九品寺のもんじゅさんに「今日も来ましたよ」と記帳。

右が米軍基地、左が自衛隊基地。



まず、米軍基地前で横断幕、旗とのぼりを立て滝川さんがマイクで抗議。

つづいて自衛隊基地にも抗議。この風景が月二回、6年間続いています。



「平和菜園」。米軍基地を撤去してすべての土地を平和菜園にするまで頑張ろうと心に決めています。



4/9 運用が始まった新しいヘリポートは通信所の電波の影響がない。式典で地域住民代表の小倉伸さんが「高齢化が進む地域ではドクターヘリ要請の回数も増え、やっと完成して感謝しています」とあいさつしました。



ヘリポート運用開始式を警備するパトカーと警察官。最初は私たちの来るのを察知していたのかと思った。



「永井友昭さんを応援する会」 からの報告

事務局 駒井隆之



朝立ちして住民にあいさつする永井さん

ご存じのように京丹後市議会議員選挙が4月19日告示、26日投票でおこなわれ、永井友昭さんが無所属で立候補されます。

20人の定員に27人くらいが立候補すると見られ、激戦になる模様です。

永井さんの選挙は単に米軍 X バンドレーダー基地反対の運動を大きくするためだけではありません。基地に頼らなくても安心して暮らしていける京丹後をつくるのが基地撤去の展望を切り拓いていくことができるからです。

「永井友昭さんを応援する会」は3月8日に「永井友昭さんを応援する京都の集い」を開き、3月10日に峰山でビラのポスティングを、24日は久美浜でビラのポスティングを多くの方に参加していただきおこなってきました。しかし、それだけではまだまだ当選への活動は不十分です。京都市内でできる当選への有効な活動は電話作戦です。永井さんへの投票をお願いする電話の件数は多ければ多いほど良いので、多くの方の電話作戦へのご参加をお願いします。

一人の電話する目標は在宅で（つまり留守を除いて）100件以上としますが、100件に達しなくても、できるところまで結構です。

名簿と話しするひな形はお渡ししますので、それほど難しいことはありません。よろしくお願ひします。

それと京丹後市にお知り合いのおられる方は、その方に永井さん支持をお願いして貰うのと、選挙はがきの記入をお願いします。

選挙ハガキの必要な方はご連絡いただければお渡しするか郵送します。祝勝会が開けるようにがんばりましょう。

永井さんからのお礼の便り

◆ 郵便局の振替口座への寄付金が片手を越えました。何十人という方からいただいています。涙が出るほどありがたいです。

お一人お一人にお礼の連絡をしないといけないのですが、その余裕がありません。

ご容赦下さい。これで結果が出なかったらと思うと生きた心地がしません。 永井

「街なかビラ」の取りくみ

= 報告 =

第 95 回 3 月 26 日（木）四条大宮
周辺 5 人

第 96 回 4 月 3 日（金）烏丸北大路周辺 6 人



両日とも暖かくいい天気でした。

- ◆「コロナでもこんなに大変なのに、軍備に金を使ってる場合ではない」（中年女性）
- ◆「沖縄の基地も早く撤去しないと」（中年男性）
- ◆「昔は自分もこんな運動をしていたな〜」（男性）
- ◆「基地ができる前に一緒に現地に行った。今は参加できていないが。友人にも渡すから」とビラを余分に持ち帰られた（男性）

※四条大宮では米軍基地のことを「知らなかった」と言う人に多く出会った。

= 5 月のお知らせ =

第 97 回 4 月 14 日（火）「藤ノ森」は中止。

第 98 回 5 月 12 日（火）出町商店街周辺

集合場所は「河原町今出川」交差点の北東角

第 99 回 5 月 21 日（木）竹田久保町周辺

集合場所は「竹田久保町」交差点の東南角

時間はいずれも 11:00 ~ 12:00 です。

090-5672-1597（白井）

※「コロナ」の関係で変更する時は、連絡します。

お知らせ 6/13~14京丹後現地闘争中止

6月13日~14日、京丹後現地闘争を準備し、皆様のご参加をお願いしてきましたが、受け入れ地元の方々がコロナ禍感染を危惧されている状況を配慮し、中止(延期)することを決定しました。

ご協力に感謝しつつ再開の折にはよろしくお願ひいたします。

米軍Xバンドレーダー基地反対京都/近畿連絡会

新型コロナウイルスを利用した 「緊急事態宣言」と改憲につながる 「大政翼賛化」に反対!

2020.4.12

大湾宗則

I. 新型コロナウイルスの現状と緊急課題。

4/12 現在、世界の感染者数は176万978人で、このうち51万人以上を米国が占めている。米国の死者数は2万71人となり、イタリアの1万9,468人を上回った。日本の感染者数は、東京の1,902人を含む計6,733人、死者は10人増え131人となった。(岩手県感染者0)

近畿では、京都(感染者数181人 死亡3人) 大阪(766人 6人)、兵庫(358人 14人)、滋賀(38人 0人)、奈良(39人 0人)、和歌山(38人 1人)。

政府の失政は、医療崩壊を引き起こし、今後さらに多くの感染者と死者が予想されている。

政府と自治体は、命を懸け、命と向き合う医療従事者に医療器具と防護服を至急配備せよ!

II. コロナ対策の失政を暴く!補償を要求しよう!

安倍政権の失政数は、数が多すぎて網羅提供することは困難。(同封ピラと「会報32」を参照)。

日本で初めて感染者(陽性)が分かったのは中国・武漢帰りの青年、1/16だった。

中国の春節(1/24 ~ 30日)で大量の中国人旅行者を当て込んでいた政府は、予防措置は講じなかった。2月に入ってクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」船内で乗員、乗客に陽性反応が多数判明し14日間の船内待機、これが船内「爆発感染」を引き起こした。国会では「桜を見る会」「検察官の定年延長問題」で政府は崖っぷちに立たされていた。

2/3、政府は「感染症対策本部」を設置して基本方針を出したが「(保証なしの)人と接する機会を自粛せよ」が中心で与野党、マスコミ、国民からも総スカンを食らった。

ここで安倍首相の得意の政治が打たれた。

専門家会議や与党及び閣僚にも諮らず「私の責任」を強調し、2/27、「子供の命を守る」名目で首相権限でもない違法な「小中高の学校を3月2日から一斉休校(自治体の権限)」を指示した。同日、2020年度予算案を国会で通過させた。危機に直面しているコロナ対策に見合った働く人々の生活資金と医療体制整備費確保に必要な予算組み替えも行わずに。

3/11、WHO(世界保健機構)のテドロス事務局長がパンデミックを宣言したが、安倍政権と東京都の関心は、国威発揚と金儲けの「オリンピック・パラリンピック」だった。

3/24、国際オリンピック委員会が延期を決定、翌3/25、小池都知事は「感染爆発・重大局面」「都市封鎖」と急に騒ぎ出した。

4/7、日本政府は「緊急事態宣言」発令。この緊急事態宣言は、雇用や営業という私権制限なのに国家補償もなく、罰則なしの要請ということで不満が噴出した。

III. なぜ、こんなことが起きているのか?

結論から言うと安倍政権は、資本の利益優先・政権維持と引き換えに人命軽視だ。

中国・武漢で2019年12/31に新型コロナウイルス(新型コロナ)が判明して以降、世界と日本の株価は下がり始めた。オリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれた時、株価はさらに落ち込んだ。

日銀は4/1、3月の企業短観調査で業況判断指数(DI)を示した。大企業製造業でマイナス8(前回12月調査では0)、大企業非製造企業もプラス8(同プラス20)と大幅に悪化し、リーマン・ショック以来と報告した。更に日本政府は、4/8に2月の景気動向指数を発表し、前月比0.6ポイント(上昇しても100を切った)の95.8と示し、これは7ヵ月連続の景気後退で「悪化」と認めた。これらの資料を基に政府は、「コロナショックによる景気後退を何とかしなければ国民生活を破綻させる」と言い張り、「緊急事態宣言」の対策事業費を108兆円計上した。

しかし騙されてはならない。日本経済が後退したのは「コロナショック」ではない。

すでに製造業も非製造業も2018年以降急速な下降線をたどり、2019年にはマイナスに至っていた。労働者の実質賃金は傾向的に低下し、これに2019年10月から消費税の増税が加わり日本の実態経済は悪化していた。これをアベノミクスの「金融緩和・財政出動」で見せかけの株価を吊り上げ、破綻を覆い隠してきたのだ。

この事実は大資本は織り込み済みで「危機」に備えて内部留保をため込んでいた。コロナショックで好景気は化けの皮がはがれ、最も被害を受けているのは非正規雇用者・フリーランスなど労働組合のない弱い立場の労働者とサービス業だ。サービス業者は協同組合で、労働者は自分と家族、仲間を守るために職場を基礎に地域を拠点に産業別労働組合を組織して命と生活を防衛しなければならない。

IV. 世界各国で進む「非常事態宣言」 緊急事態宣言から緊急事態条項への改憲阻止!

「自肅要請」するなら国家は全額補償せよ!

諸外国の憲法には国防の義務と緊急事態条項があり、国民に自肅要請だけでなく、罰則付きの禁止規定がある。日本国憲法には、国防に関する規定も緊急事態条項もない。だから国民の自由や命、表現その他の権利を「国難・有事」を理由に禁止できず「要請」にとどまっている。

土地と薬剤の徴収は憲法第 29 条の「私有財産権」の項で「正当な補償の下にこれを公共の下に用いることができる」を援用している。

それなら賃金も営業収入も働く者の財産だ。自肅要請なら国は全額本人に補償すべきだ。

V. コロナ危機が国難? 与野党翼賛化に反対を!

しかし現実には、安倍首相が呼びかけた「コロナに対して与党も野党もない、この国難を共に乗り切ろう」という大政翼賛の誘いに野党もマスクミ、国民も取り込まれつつある。これこそ民衆にとってコロナショックより脅威である。

私たちの声と行動は今はまだ小さい。しかし、この緊急事態宣言から緊急事態条項導入、そして憲法第九条を抹殺して改憲へ向かう道を阻止するためにもここで踏ん張る以外に道はない。

VI. 医療崩壊は優生思想と排外主義を煽る

医療崩壊が深刻なイタリアやスペインでは人工呼吸器の不足が原因で「高齢者や障がい者など」の患者が事実上のトリアージ(命の優先順位)が行われ、助かる見込みの高い人から集中処置室(ICU)に送られている、と色平医師(佐久総合病院)は報告している。まさに資本の観点から生産性で人の命が斟酌されている。

また、ポンペオ米国務長官は朝鮮、イラク、ベネズエラなどへの経済制裁継続を公言し、感染症さえ武器にした政治を行っている。更に、さいたま市は、朝鮮初中級学校幼稚部の児童にだけ「マスク配布」をしなかったが幼稚部から抗議を受けて配布した。さらに京都産業大学の学生が集団感染した結果、京産大の学生というだけで就職活動やアルバイトでパッシングにあっている。この排外主義や経済制裁は許せない。解除せよと要求すべきである。

最近、アフリカやブラジルでコロナ関係の暴動が報道され、インドネシアでも暴動を恐れて強い規制ができていないと報道されている。こうした状況下で、アメリカや各国では、治安対策として軍隊が、日本では警察機動隊が市内で住民を威嚇している。緊急事態宣言とは何か?

その輪郭が少しずつ現実化しつつある。

VII. 軍隊内でも感染が広がっている

沖縄の嘉手納基地で米軍内にコロナ感染者が報告されたが、米軍の原子力空母内でも約 200 人が感染したと報道されている。この事態を知らせた艦長が米国政府に解任され、この解任した高官に乗組員たちが抗議している。

VIII. 資本家階級は政治的支配能力を喪失している。

資本家階級は、労働者階級の闘いに対抗しながら資本の再生産と利潤追求のため、工場法や労働法で妥協し、労働者大衆を支配下に取り込む国家の社会政策として体系づけてきた。

今、日本の資本家階級は、労働者大衆を極度の貧困に落とし込み、保健所を半減し、国立感染症研究所の予算を 20 %も削減して医療を含む社会保障制度(社会政策)を破綻させ、人々の命と生活を維持できない事態に直面している。

自然的・社会的人間を極限まで個に分解して「資本の王国」を築いた資本家階級は、利潤追求の論理によって自らの「墓穴」を準備した。

近・現代の「自然を征服する」という彼らの思い上がりがかたがた返しを受けているのだ。

IX. 団結と免疫力こそウイルスに対する抵抗源

コロナに対する個人的恐怖心を家族や友人、地域への熱い想いで社会的な力へ転化しよう。

資本による生産性向上の名による搾取と支配強化に反対し雇用と生活を守ろう。健康で文化的な生活を営むため栄養と睡眠をとり、散歩で免疫力を上げ、コロナに打ち勝とう。団結・連帯・共生で平和と人権の社会を築き上げよう。

4/10 緊急事態宣言に異議あり! 緊急行動

駒井隆之

4月7日、安倍首相は、衆議院運営委員会で「新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえつつ(緊急事態条項導入について)国会の憲法審査会の場で与野党の枠を超えた活発な議論を期待



タワー前で

したい」と表明しました。これは許せない!と 4/10 京都タワー前、18 30 から抗議の街頭宣伝を行いました。京都タワー前での「緊急事態宣言に異議あり!」緊急アピール行動は山本さん、南野さんなどからも報告がありましたが、タワー前には大変反応が良かったです。この問題の安倍政権の対応について不安、疑問に思っている人が多いからだと思います。

参加された方、お疲れ様でした。